

この空は、ビルマともつながっている。  
 祖国を思う気持ちは、どこにいても変わりはない。  
 ビルマ人に自由を。祖国においても、ここ日本においても。



国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチを迎えて〈在日ビルマ難民が問う私たちの課題〉

# 「世界難民の日」記念シンポジウム'07

主催：2007年世界難民の日実行委員会 後援：(社)アムネスティ・インターナショナル日本 協力：日本UNHCR協会

## ビルマ難民の真実を知ってほしい。

いまだに軍政の続くビルマ(ミャンマー)。選挙も憲法もない状態が20年近く続いています。日本でも多くのビルマの人々が、祖国での迫害を逃れ日本で在留資格を求めています。しかし在留資格を得られる人はごくわずか。100人\*近くものビルマ人が(※2006年時点)、主張を認められず、窓すらない施設に閉じこめられています。一方で日本政府は、人権問題を重視する姿勢を国際社会にアピールしています。しかし現在の日本の難民受入れ政策は、国際社会の期待に届くものでしょうか。法務省はビルマでの人権侵害の実態を正しく受け止めているのでしょうか。限られた数の難民認定者と大量収容、この処し方に代わる関わり方がきつとあるはず。

米国最大の人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ、ビルマ難民、支援者とともに私たちができることを一緒に考えてみませんか。



大阪	<b>7月1日(日) PM12:30~</b> 会場：大阪市立住まい情報センター 3Fホール (地下鉄「天神橋筋六丁目」すぐ、JR「天満」徒歩7分) 参加費：1,000円 ※11時より写真ブースを開場しております	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディビッド・マティソン氏(ヒューマン・ライツ・ウォッチ、ビルマ担当) 「ビルマの人権侵害の真実 ~ビルマ民主化のために日本が果たすべき役割~」</li> <li>●キンマウンラ氏(ビルマ難民) 「偽装難民と呼ばれて ~難民認定までの長く厳しい道のり~」</li> <li>●馬島浄圭氏(日本ビルマ問題を考える会) 「私が寄り添うビルマ人難民申請者たちの素顔」</li> </ul>
東京	<b>7月8日(日) PM6:30~</b> 会場：文京シビックホール 小ホール (地下鉄「後楽園」または「春日」徒歩3分、JR「水道橋」徒歩8分) 参加費：800円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土井香苗氏(ヒューマンライツ・ナウ、ヒューマン・ライツ・ウォッチ)</li> <li>●渡邊彰悟氏(在日ビルマ人難民申請弁護団)</li> <li>●その他(ビルマ難民)</li> </ul>

【お問合せ】 Rafiq 大阪府高槻市大手町6-24 / FAX:072-684-0231 / 電話:06-6922-8939 / メール:rafiqmodati@yahoo.co.jp

■西日本入管センターを考える会、日中友好連誼会大阪府本部、TRY(外国人労働者・難民と共に歩む会)、ビルマ難民連、RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)  
 ■賛同団体/(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、在留資格を求める配偶者の会、(社)シャンティ国際ボランティア会、女性と仏教東海・関東ネットワーク、高槻むくげの会、名古屋ビルマ弁護団、難民・移住労働者問題キリスト教連絡会、反「入管法」運動関西交流会、日本ビルマ救援センター、日本ビルマ問題を考える会、東日本入管センター面会支援キリスト教ネットワーク(牛久面会ネット)、ビルマ市民フォーラム、RINK(すべての外国人労働者とその家族の人権を守るネットワーク)(2007年4月1日現在/50音順)

<http://rafiq.jp/wrd/> (最新情報はサイトにてご確認ください)